

コロナ禍における自動車産業の現状とポストコロナへ向けた動向について

21911051 井上寛太

現在、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い世界的な半導体不足が発生し、また海外におけるロックダウンなどの影響により、部品供給の遅延が原因となり、新車販売の納車までの期間が大幅に時間を要するようになっている。人気車種によっては注文から納車まで、半年から4年という報道もある。

現に私も、スズキの新型ジムニーを注文し購入（予定）だが、ディーラーからは納車が1年以上先と告げられた。私も位置納車待ちをしている当事者として今回のテーマを選択するに至った。

まず、なぜこのようになってしまったのか、どのようにして納期が遅れるようになったのか、日本や世界の自動車業界がコロナ禍でどうなっているか、今後このまま自動車の納期が遅い事が続くのかどうかを検証することにした。

現代では新車の販売や、その他中古車などの価格上昇などがあるが、自身の車を所有するという時代から車をシェアやレンタルするという新しい時代になっていくことも視野に入れ、今後自動車業界がどのようになるのかデータを用いながら研究することにした。